

令和3年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	総事業費(円)	交付金活用額(円)
1	保健センター管理事業	健康づくり支援課	避難所指定のある保健センターを感染症発災時に対応するため、玄関に風除室の設置、全館冷暖房化、衛生機材の非接触化、全トイレの様式化、オストメイト対応型トイレの設置、照明器具のLED化、多目的ホールA（旧健診室）の床材を交換する等、改修工事を行った。	高齢者から子供までが利用する保健センターの改修工事により、利用者への感染症予防対策を講じた健診業務、保健センター室内環境整備等に大きな改善が図られた。	69,687,200	56,102,000
2	道路新設改良事業	建設課	外出自粛などの影響を踏まえた健康づくりに関心が高まる中、安全に地域の商店街等を周遊するウォーキングロードを設置し、市民の健康づくりを促進する。	ウォーキングロードの整備により、屋内公共施設の制限がある中で、安全に地域を周遊することが可能となり、利用者が増加し、市民の健康づくりの促進につながった。	59,697,000	48,059,000
3	新型コロナウイルス感染症対策建物等付属備品購入費	市民課	各市民サービスセンター敷地内トイレの洗面所内水栓7か所を、非接触型自動水栓に切替え、感染症予防対策を講じた。	自動水栓にしたことで、感染症予防対策が強化され、より安心安全に施設を利用できるようになった。	5,100,370	4,106,000
		生活環境課	公共施設において水栓を通じた接触機会を低減するため手洗い場の自動水栓化を進める。	水栓を通じた接触機会を低減することができた。		
		農林水産課	マウントあかね、多目的集会所、漁業歴史資料館等の農林水産課所有の施設にある手動水栓を、感染症対策のため、自動水栓を購入し付け替えを行った。	手動水栓を自動水栓に付け替えたことで、不特定多数の人が触れる機会を減らすことにより、感染予防を徹底することが出来た。		
		商工観光課	市内観光施設であるガラス工房シリカ、花園オートキャンプ場、中郷温泉通りゃんせにおいて、トイレ手洗い場に自動水栓を設置した。	手洗い場を自動水栓化することで、共用スペースの不特定多数の接触部分が減り、感染予防を図ることができた。		
		生涯学習課	感染拡大防止のため40箇所（公民館13箇所、ふれあいセンター3箇所、スポーツ施設24箇所）に自動水栓を設置した。	蛇口に直接触れることなく手洗いができるため感染拡大防止が図れた。		

令和3年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	総事業費(円)	交付金活用額(円)
		総務課	市庁舎内の水栓に後付け自動水栓を設置(25台分)した。	後付け自動水栓を導入することにより、職員のほか来訪する不特定多数の市民が利用する水栓を通じた接触の機会を減らすことができた。		
4	新型コロナウイルス感染症対策常備消耗品代	総務課	庁舎内の消毒及び作業に要する消耗品（消毒用エタプロコール、キッチンペーパー、ポリエチレン手袋）を購入した。	消毒作業を励行し、感染拡大防止に寄与した。	4,032,523	3,246,000
		農林水産課	感染症対策の為、多目的集会所等の農林水産課所有の施設へアルコール消毒液を購入し配布した。	感染予防を図りながら施設の使用を継続する為、アルコール消毒液を購入し使用することで、感染予防を徹底することができた。		
		都市計画課	施設に消毒液及びペーパータオル等を購入し、設置することで感染症予防対策を行った。	必要な消耗品及び備品を購入し、活用することで感染症予防に役立った。		
		消防課	新型コロナウイルス感染症対策により使用数が増加した感染防護衣、N95マスク、各種消毒用消耗品等を購入し整備した。	消耗品等を有効に活用し、職員の感染対策の徹底が図られた。		
		教育総務課	感染症予防及び拡大防止のため、手指消毒用アルコール、給食用アルコール、衛生用品等を購入した。	消毒用アルコール等を活用することで、感染症の予防及び拡大防止に役立った。		
		生涯学習課	感染予防を図るために施設や手指の消毒に必要な消毒液、センサー式ディスペンサー、手袋、キッチンペーパー、検温に必要な非接触体温計等を購入した。	感染予防を図りながら事業を継続するため、必要な消耗品を購入し活用することで、感染拡大防止が図れた。		
		図書館	新型コロナウイルス感染防止対策のため、図書の除菌をするアルコールやＣＤ・ＤＶＤ専用の除菌剤、館内除菌清掃に使用する洗剤や手袋、雑巾等を購入。卓上のアクリルパーテーションの購入。	安心して利用できる環境を整えることができ、利用の促進につながっている。		

令和3年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	総事業費(円)	交付金活用額(円)
5	成人式運営事業	生涯学習課	新型コロナウイルスの感染を防止するため、成人式の祝典会場をあゆみドームに変更することで密の回避を図るとともに、出席を希望する予防接種未接種者等の新成人の抗原検査を実施する。	密の回避や予防接種未接種者等の抗原検査実施により、感染対策徹底され感染拡大防止が図れた。	802,657	646,000
6	教育支援事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響により発生した、修学旅行中止に係るキャンセル料及び校外学習に係るバスの増便費用を補助した。	新型コロナウイルス感染症の影響により発生した、キャンセル料（修学旅行）及びバス増便費用（校外学習）を補助したことで、保護者負担の軽減と感染拡大防止を図ることができた。	3,374,251	2,716,000
7	教育指導事業	学校教育課	国のGIGAスクール構想による児童生徒全員へのタブレット端末の供与に伴い、ICT支援員を全小中学校に派遣し、ICT環境の整備及び活用に伴う支援を行う。	ICT支援員（6名）を全小中学校に派遣し、ICT環境の整備及び活用に伴う支援を行ったことで、学校のICT環境のデジタル化の促進及び児童生徒・教員のICTスキルの向上が図られた。	4,876,810	3,925,000
8	小学校施設運営事業	教育総務課	学校行事等を映像配信等することにより三密対策を強化し、GIGAスクール構想に基づき1人1台タブレット端末導入に併せた効果的な授業展開を促進するため、タブレット端末画面を表示する大型提示装置を整備する。	地上デジタル対応4K液晶テレビ等を各小中学校に合計99台整備し、全校集会等の学校行事を映像配信で実施する等、感染拡大の防止に努めた。また、タブレット型PCを接続して授業にも用いられる等、各小中学校において積極的な活用が図られた。	12,066,087	10,076,000
9	観光振興推進事業	商工観光課	「海と山とアートのまち」北茨城市を効果的に表現した映像を製作・プロモーション活用し、北茨城市の知名度や来訪意欲を持続的に向上させ、観光客の誘致を図ることを目的とする。	製作した動画はSNSを活用したプロモーション展開により、計10万回以上視聴され、コロナ禍で観光が難しい中でも国内外広く北茨城市をPRすることができた。	1,754,500	1,412,000
10	電算管理事業	企画政策課	職員、外部会議参加者間の直接の接触を避けるとともに、夜間休日等における意思決定を迅速に行うため、Web会議の開催環境を整備した。	様々なweb会議に対応できる環境が整備されたことにより、感染機会の軽減に寄与した。	2,277,836	1,833,000

令和3年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	総事業費(円)	交付金活用額(円)
11	移住交流推進事業	企画政策課	対面での相談や啓発が難しい状況を踏まえ、地方移住希望者向けの空き家バンクの情報を拡充するため、移住定住サイトを整備し、空き家希望者を募り空き家所有者とマッチングさせるための仕組みを構築した。	内容を若者向けに刷新し、全体的に見やすくレイアウトを行った。空き家バンクの物件画像の拡大やイベントや移住者の声が反映できる記事の掲載、インタビュー動画やPR動画の掲載等、移住検討者が情報入手できるような仕組みを構築した。	2,305,050	1,856,000
12	新型コロナウイルス感染症対策事業（事業者支援一時金）	商工観光課	主な事業の売上が県の営業時間短縮要請又は移動自粛要請の影響を受け、前年又は前々年同期比で30%以上減少している中小企業者及び個人事業主へ20万円を給付した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている事業者に市独自の給付金を支給することで、事業の継続支援につなげることができた。	26,205,546	26,187,000
13	茜平総合交流施設維持管理事業（新型コロナウイルス感染症対策市有施設管理業務支援金）	農林水産課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市が休業要請をしたことにより、自主事業による事業収入が減少してしまった指定管理者に対し、予算の範囲内において支援金を交付する。	休業要請及び支援金の交付により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や自主事業の事業継続にも効果を発揮した。	630,000	630,000
14	小学校施設運営事業	教育総務課	新型コロナウイルス感染拡大防止等の臨時休校時における自宅でのオンライン学習や、学校での情報機器使用による効率的な学習支援のため、小中学生に対し1人1台のタブレット端末を整備することで、学習の支援を図る。	タブレット型PCを各小中学校に合計3,142台整備し、臨時休校時には自宅からのオンライン学習に活用する等して感染拡大の防止に努めた。また、授業における学習支援においても積極的に活用が図られた。	72,020,016	57,988,000
15	子ども・子育て支援事業費	子育て支援課	地域子ども・子育て支援事業を行う事業所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の支援として、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費（かかり増し経費等）のほか、感染防止を図るために必要な衛生用品の購入等の経費について補助を行った。	感染予防を図りながら事業を継続するため、必要な消耗品や備品を購入し活用することで、感染予防を徹底し、感染拡大防止を図ることができた。	5,670,000	1,034,000

令和3年度北茨城市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業一覧

No.	交付対象事業の名称	担当課	事業概要	事業実施による効果	総事業費(円)	交付金活用額(円)
16	保育対策総合支援事業費	子育て支援課	保育所等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の支援として、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費（かかり増し経費等）のほか、感染防止を図るために必要な衛生用品の購入等の経費について補助を行った。	感染予防を図りながら事業を継続するため、必要な消耗品や備品を購入し活用することで、感染予防を徹底し、感染拡大防止を図ることができた。	2,777,526	1,034,000
17	家族キャンプ村管理事業	商工観光課	花園オートキャンプ場において、場内トイレの洋式化・温水洗浄便座設置、炊事棟・管理棟の給湯設備設置、管理棟の洗面所改修工事を行った。	場内トイレの改修工事により、場内トイレ全てにフタが付けられ、飛沫感染防止対策を図ることができた。また、洗面所改修により水受け部分が広くなり、飛沫感染防止を充実させることができた。	6,160,000	2,319,000
18	新学校給食共同調理場運営事業 （学校給食臨時休業対策事業費補助金）	給食センター	新型コロナウイルス感染症拡大防止として北茨城市小中学校の臨時休校に伴う給食停止により影響を受けた納入業者に対し補助金を交付した。	納入業者が給食休止措置により生じた負担を保護者に転嫁することがなく、結果的に保護者の負担軽減につながった。	817,107	658,000
19	市巡回バス運行事業（新型コロナウイルス感染症特別対策運行補助金）	まちづくり協働課	新型コロナウイルス感染症拡大により、特に大きな影響を受けている市内路線バス事業者を支援し、市民生活に必要なバス路線の運行継続を図るため、路線バスの運行における事業損失額の一部を助成した。	運行路線が維持されるとともに、市民生活における重要な交通手段が失われるという事態を防ぐことができた。	3,400,000	3,398,000
					283,654,479	227,225,000